

令和3年 4年生大会 競技上及び審判上その他注意事項

■本大会は2021年度公認野球規則、全軟連規則を適用します。但し次の規定を優先する。

1. ベンチは抽選番号の若いチームが一塁側とする。先攻、後攻はジャンケンで決める。
2. 試合は5回戦とし、1時間10分を過ぎて新しいイニングに入らない事とする。
3. 本大会は、投球制限を取り入れる。(1投手1日60球を基本上限とする。)
4. 塁間及び本投間は次の通りとする。(塁間:21m 本投間:14m)
5. 参加資格は単独チーム(2年生以上4年生以下)のみとする。但し、今大会は合同チームの参加を認め、参加全チームによるトーナメント戦とする。尚、登録人数は10名以上20名以下とする。
6. 延長戦は行わず、規定回数終了時又は、制限時間を過ぎて同点の場合は、正式試合を打ち切り、タイブレークとして特別方式を適用し試合を続行する。特別方式は継続打順とし、無死1,2塁の状態にして試合を行う。最大2イニング迄とし、勝敗が決しない場合は抽選によって勝敗を決定する。
尚、決勝戦も同様とする。
7. 正式試合は3回終了時とする。得点差によるコールドゲームは3回10点差、4回7点差とする。降雨、日没時に規定回数又は制限時間迄試合が進行していない場合は、ノーゲームとし再試合とする。
8. 投手は変化球を投げる事を禁止する。ペナルティーは競技者必携を参照する。
用具については、打者、走者、次打者は両側にイヤーフラップの付いたヘルメットを着用する事。
尚、ベースコーチも着用する。捕手はプロテクター、レガース、ヘルメット、ファールカップを必ず着用する事。金属・ハイコンバットはJ・S・B・Bマークの入ったものを使用する事。
9. タイムの制限については、監督、捕手又は内野手が一試合に投手の所に行ける回数を5イニングスの試合であるが、3回以内とする。特別方式になった場合は1イニングスに1度認める。
10. ボークについては、その試合に於いて1回目は注意指導とするが、2回目以降のボークについては、1回目の投手又はチームにかかわらず、ボークを宣告するものとする。
抗議のできる者は、監督と当該プレーヤーとする。(ボール・ストライクの抗議は認めない)
11. 相手チームへの個人的なヤジ又は品位のない言動及び選手への恫喝、暴言は認めない。注意を受けたにも関わらず、続けた場合は審判員の判断によりその該当者を試合から除外することもある。
12. 試合開始予定時刻30分前に大会本部にメンバー表4枚提出する事。試合開始予定時刻に集合しないチームは棄権とみなす。また、追加登録は当該チームの初戦までの期間認める。登録票原本に追加登録者を追記し、集合時に本部へ提出すること。
13. 監督に限りピッチャーズマウンドに行き指示をすることができる。(その際、監督はマウンドまで小走りで行復すること) 試合前の練習等においても、監督、コーチ以外はグラウンドに入れない。(試合前の練習時に於いて監督・コーチは、グラウンドコート以外のオーバーパンツ着用等での指導は禁止とする。)
14. 背番号は選手1~25と31番以降(主将は10番でなくても良い)の20名以内と、監督30番、コーチ29・28番、登録については男女を問わない。(合同チーム監督30・コーチ背番号29・28番は同様に厳守)
15. ベンチ入りは、監督、コーチ2名(登録者)、スコアラーの4名以内と10名以上20名以内の登録選手とする。尚、選手9名でも試合は認めるとこととする。監督・コーチ以外はユニフォームを着用しない。
16. 監督が不在の時は29番を監督代行として認めるが(本部にその旨を必ず報告し承認を得ること)登録の監督、コーチ3名が全員不在の場合は棄権とする(合同チームも同様)
17. 表彰は優勝杯・優勝メダル・賞状。準優勝盾・準優勝メダル・賞状。3位盾・メダル・賞状授与。
本大会の優勝チームは東京23区少年軟式野球大会・低学年の部出場を推薦する。準優勝チームは、マクドナルド・ジュニアチャンピオンシップに推薦する。3位は、若獅子旗・第27回学童低学年秋季大会に推薦する。(ベスト4に2チーム以上の合同チームが勝ち上がった場合の推薦方法は、ベスト8のチームより推薦。推薦1位:優勝チームに敗戦した単独チーム、推薦2位:準優勝チームに敗戦した単独チーム)
18. 合同チームは上部大会への出場権利は与えられませんが、本大会の賞には該当します。
19. スポーツ保険は必ず加入する事が参加の条件です。